

保育所の運営に民間の活力を

公私連携型保育所の設置及び運営に関する協定締結

町は9月2日、社会福祉法人将友会(芦北町)と公私連携型保育所の設置及び運営に関する協定を結びました。

公私連携型保育所とは、自治体が民間法人与連携し、公有の土地・建物などを法人に提供して、両者が協定を結び運営する保育施設です。

今回の協定に基づき、令和7年度から第4保育所の運営方式が公私連携型に移行します。

前田徹一理事長は、「町に溶け込みながら、幼児教育に誠心誠意取り組んでいきます」と抱負を述べました。



協定書を掲げる前田理事長と西村町長

南極から小学校へライブ中継！

国立極地研究所による「南極教室」

南極教室が9月3日、広安西小で開催されました。

この教室は、日本から約14,000キロ離れた南極・昭和基地と学校を衛星回線で結び、南極観測隊員と児童・生徒がリアルタイムで交流を行う取り組みです。

講師を務めた第65次南極地観測隊の松本巧也隊員は、同小児童2人のお父さんでもあります。松本隊員は南極での任務や役割など、動画も交えて詳しく解説しました。

参加した本住彩葉さん(5年生)は、「寒い南極でも料理ができることに驚きました」と感想を述べました。



南極とライブ中継。日本との時差は6時間

益城の川を学んで遊ぶ

地域おこし協力隊主催「ましきソトアソビ」

ましきソトアソビが、9月7日に秋津川河川公園で、8日に小谷の布田川河川敷でそれぞれ開催されました。

布田川のイベントでは、上小谷地区自主防災クラブの山本健司さんが、昨年の豪雨災害の様子や川辺での注意点などを説明。参加者は、ライフジャケットを着用して川の流れの強さを体験し、御船保健所の吉川宗志さんの指導の下、川の水質検査や水生生物の観察を行いました。

参加した小田蒼晴くん(畑中)は、「大きい虫をつかまえて楽しかった」と感想を述べました。



⑤川にはどんな生き物が住んでいるのかな？⑥川の流れを体験

Best Smile

今月のベスト笑顔

